



平島先生其の返状 完



ろ

ろくろろろ然  
思案でまける  
まげねいゆぐぬ  
つがあろ



静安舎

い

いちがごころい  
生まはつるぬ  
直がえ来  
うまれはき



静安舎

へ

へらこ事ふい  
長事いあひ  
志事こ色  
みふよひぢ



舎安静

ほ

ほしやとやれ  
思案の鬼よ  
らくかあゆみ  
くさしめる



舎安静

に

にくむらぐさ  
ふ慮とふ考  
かくみくま  
やうがない



舎安静

は

はぢと志き  
そぢと志き  
恥のきあは  
さるものどや



舎安静

ぬ

ぬるまゝいぞや  
思案の鬼が  
といと地獄へ  
はさしてゆへ



舎安静

り

利はぶるのい  
大いさあやう  
志きこゝろで  
よふ事成



舎安静

ち

ちうの親子に  
びごいといふを  
あゝの他人へ  
おとろしや



舎安静

と

とふものくにも  
親孝行と  
まゝ忠義と  
こゝろをやる



舎安静

か

かひとがーぐる  
そこおがやよ  
人を見らごも  
天物すき



倉安静

わ

わき紙たて終ハ  
あつたの出来ぬ  
志れよんふ  
我をたふ



倉安静

を

男女乃乃養ガ  
大事ト  
わく志中うのめい  
人れんと



倉安静

る

あつとらんきぬ  
そのれがあら  
ふもてるいも  
かづりわり



倉安静

ろ

損とくけを全  
無理をばとら  
ぬよとて  
毒よやめて



舎安静

れ

禮義どてこそ  
かりあてざる  
たて乃ふいのが  
まいであり



舎安静

た

ためふよふ事  
ゆよのいりやで  
毒とあてよ  
んがとた



舎安静

よ

よだまハス  
ふぐとふふよ  
おろよとろさも  
おろんか



舎安静

ら

らくがあつて  
らんがあつて  
らんがあつて  
らんがあつて



舎安静

な

なつとあつて  
なつとあつて  
なつとあつて  
なつとあつて



舎安静

ね

ねてもあつて  
ねてもあつて  
ねてもあつて  
ねてもあつて



舎安静

つ

つひとあつて  
つひとあつて  
つひとあつて  
つひとあつて



舎安静

お

おで乃玉川

わがががまじや  
あうもくそぬ

たんてがたふ



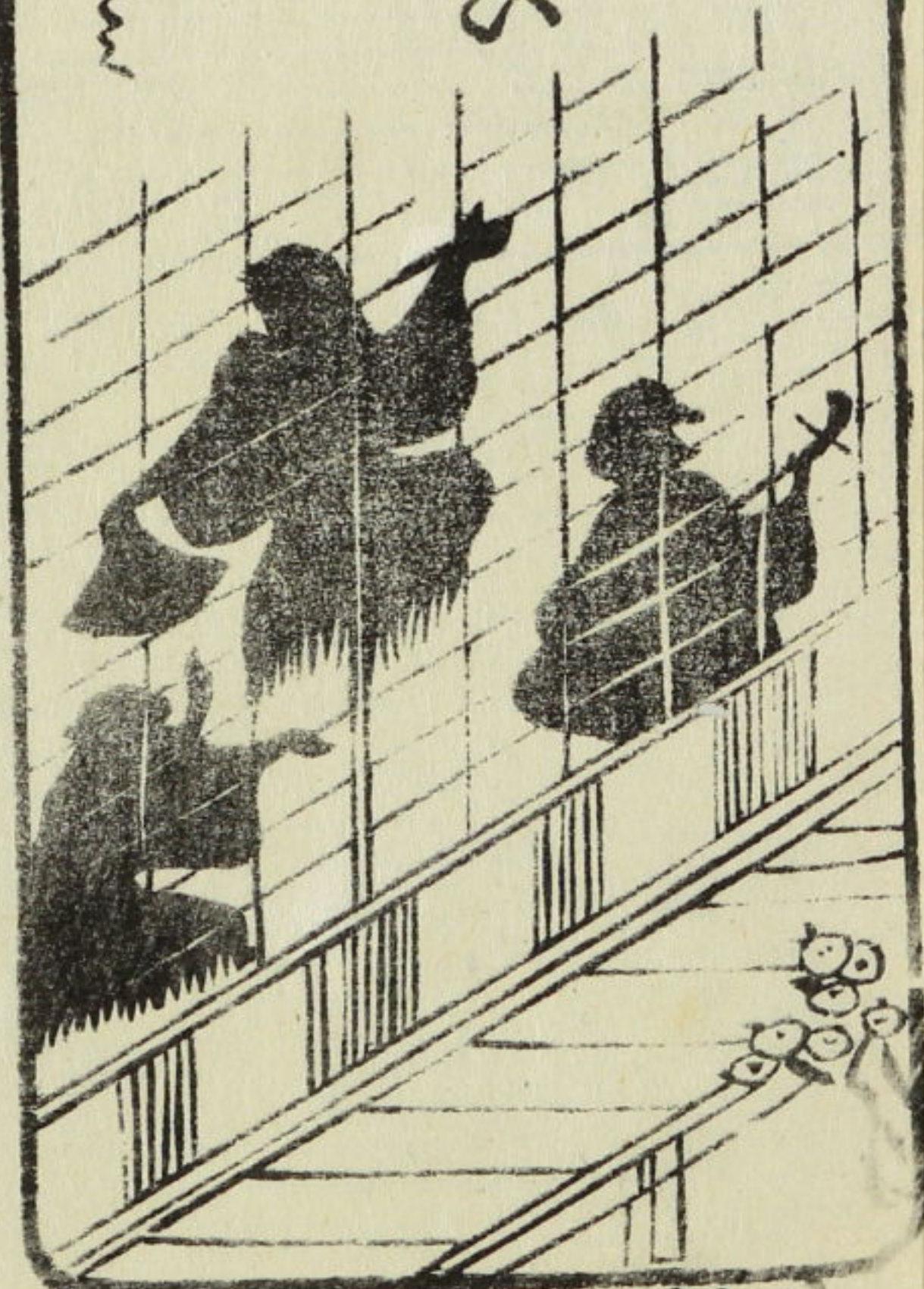
舍安静

の

のめわうそんや

一すうきんまひ  
けうまぐちのまぐ

あでや



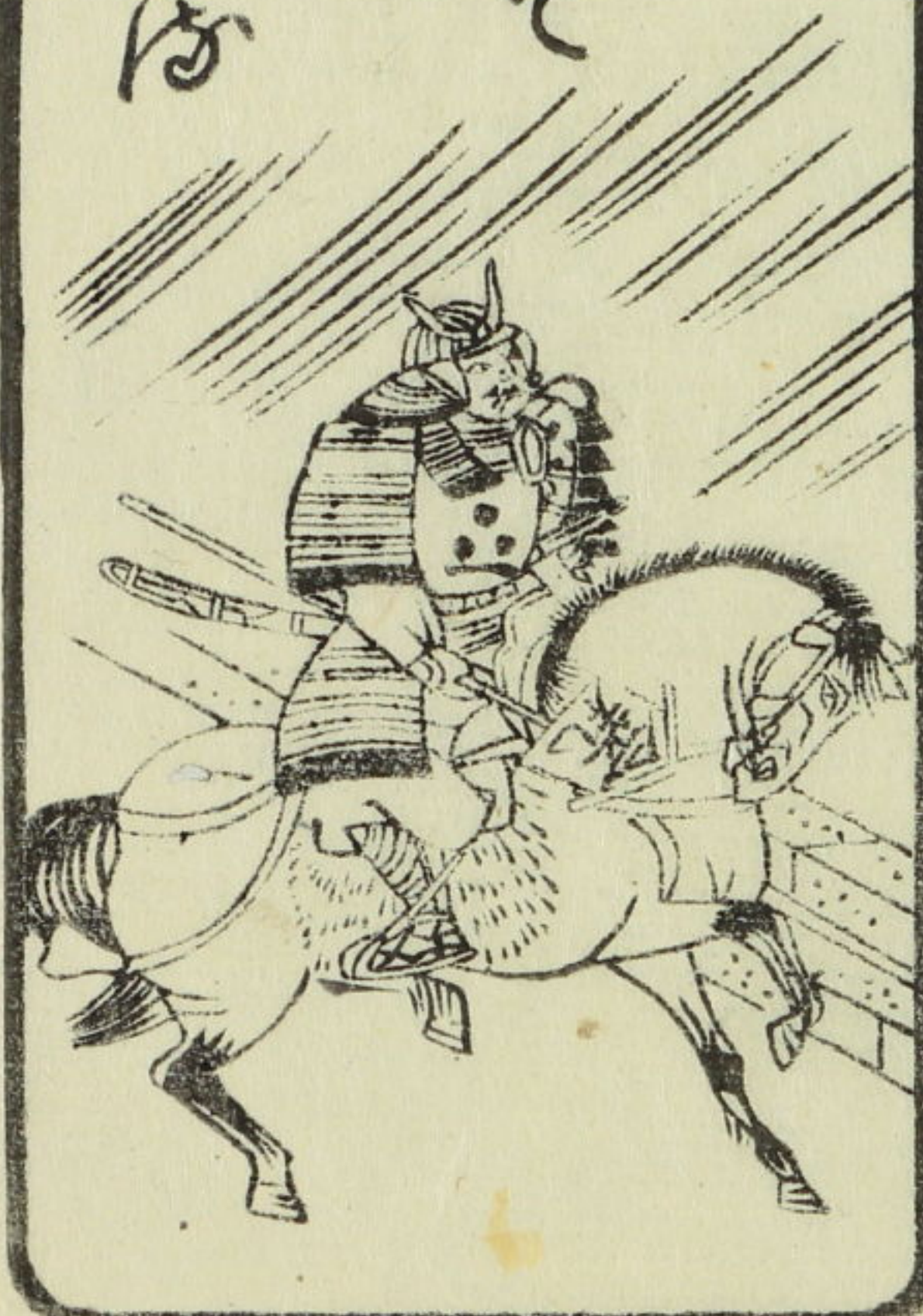
舍安静

う

うせいんり

かかがあらぞ  
人いともあま

我がーは



舍安静

む

むじ事ぶ

きふりあま  
まきバ我がに  
みかじふ



舍安静



ま

まける事とば  
きくやるげふが  
たせふ欲えん  
ようのせん



静安舎

や

灸<sup>やい</sup>とまやま  
孝<sup>けう</sup>行<sup>ぎやう</sup>のよや  
親<sup>おや</sup>もよあふ  
分<sup>ぶん</sup>も無<sup>む</sup>事<sup>じ</sup>か



静安舎

く

久<sup>く</sup>米<sup>めい</sup>の仙<sup>せん</sup>人<sup>にん</sup>かうい  
あまよそ  
かえんて  
だまさまて



静安舎

お

おくの奥<sup>おく</sup>まで  
さぐくみても  
おぎり志<sup>し</sup>まぬ  
我<sup>わが</sup>ころ



静安舎

ね

縁えんみひらきて  
心こころいろうる  
きりい事ことに  
ほほらま



静安舎

こ

こころひてんふ  
かひらいとまぬ  
柱はしらふけま  
七なな福ふくもは



静安舎

ふ

ふりおやど  
重おも宝たからあま  
ままの志こころまぬ  
我われころ



静安舎

け

けい化け糖じょうで  
外そとくぬきど  
じさいあま  
ぬぬきま



静安舎

き

きくうんていゆ  
きせがさうつさき  
こくく思案ハ  
みか  
くまごら



倉安静

さ

さてもゆを  
あめふりのどや  
おがえ志しき  
さるんーは



倉安静

あ

あさらあくろふ  
思案のそんお  
そまがつろく  
うごくれぬ



倉安静

て

てのめぐそで  
かいのりかんよ  
思にきせしむ  
あふまきど



倉安静

し

初道は志くす  
心紙志くす  
くすを人こそ  
さうふられ



倉安静

み

みくをきりたい  
そのころさう  
わきば志くす  
わがあり



倉安静

め

目にもみへねば  
静ふもきく  
はまどふし  
かひまじ



倉安静

ゆ

夏乃世とや  
静ふはし  
震云いふの  
あやや



倉安静

セ

世智<sup>セチ</sup>のひとが  
おろも<sup>おろ</sup>も<sup>も</sup>善<sup>ぜん</sup>好<sup>こう</sup>で  
人と<sup>ひと</sup>救<sup>すく</sup>ひ<sup>ひ</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>が  
う<sup>う</sup>縁<sup>縁</sup>の<sup>の</sup>を<sup>を</sup>ん



静安舎

も

も<sup>も</sup>の<sup>の</sup>き<sup>き</sup>貪<sup>こん</sup>乏<sup>ぼく</sup>  
と<sup>と</sup>人<sup>ひと</sup>多<sup>た</sup>  
ふ<sup>ふ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>り<sup>り</sup>け<sup>け</sup>と  
あ<sup>あ</sup>こ<sup>こ</sup>ろ<sup>ろ</sup>そ



静安舎

ひ

貪<sup>こん</sup>と<sup>と</sup>福<sup>ふく</sup>は<sup>は</sup>天<sup>てん</sup>命<sup>めい</sup>  
ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>が<sup>が</sup>ま<sup>ま</sup>  
ひ<sup>ひ</sup>と<sup>と</sup>も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ



静安舎

あ

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>か<sup>か</sup>を<sup>を</sup>ん<sup>ん</sup>  
う<sup>う</sup>し<sup>し</sup>あ<sup>あ</sup>ひ<sup>ひ</sup>な<sup>な</sup>ん<sup>ん</sup>ぞ  
死<sup>し</sup>ん<sup>ん</sup>で<sup>で</sup>あ<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よ<sup>よ</sup>か  
わ<sup>わ</sup>ん<sup>ん</sup>さ<sup>さ</sup>く<sup>く</sup>を<sup>を</sup>と<sup>と</sup>や



静安舎

京

糸の大平

糸の糸  
糸の糸  
糸の糸

糸の糸



糸安静

す

すはをほし

糸子のん

糸子のん

糸子のん



す安静

